

# 道徳の時間学習指導案

三次市立川地小学校

指導者 田中 菜穂子

指導者 高下 美恵

- 1 日時 平成26年9月25日(木)
- 2 学年 第5学年 計12名
- 3 主題名 離れていたって友だちは友だち 2-(3)【信頼・友情、助け合い】
- 4 ねらい 「友のしょうぞう画」を見て和也の目から涙があふれた理由を考えることを通して、互いに助け合い、信頼し合って友情を深めようとする心情を育てる。
- 5 資料名 「友のしょうぞう画」(かがやけみらい 学校図書)
- 6 主題設定の理由

## (1) 主題の設定

人を信頼し、裏切らないということは、人と人との絆を結ぶ基本となる価値である。信頼しあうには相手の立場に立つこと、そして相手の身になって思いやり、助け合ったり、励まし合ったり、忠告し合ったりすること、さらに友だちに信頼されるよう誠実に行動し自分自身を高めていくことが必要である。本資料により、人間関係の基本となる信頼・友情について深く考えさせ、誠意をもって相手に接し、よりよい人間関係を築こうとする心情を育てたい。

## (2) 児童の実態

本学級の児童は、男子1名、女子11名という男女の人数構成が偏った学級であるが、男女一緒に遊び共通の話題で盛り上がっている姿がみられる。5年生となると単なる遊び友だちではなく、もっと深いつながりを求めて互いに助け合おうとする仲間意識も高まってくる。児童は友だちが必要なことも大切なこともよくわかっている。しかし、相手のことを考えていない発言や行動をする児童がいる。また、自分が友だちからどのように思われているか気になったり、自分にはなんでも話せる友だちはいないと感じていたり、友だち関係に不安を感じている児童もいる。

## (3) 資料の概要

幼馴染でとても仲の良かった和也と正一は、正一の難病治療のため遠く離れてしまう。二人は文通を始め、互いの友情を深め励まし合うがやがて正一からの音信が途絶える。一年近くたったある日、和也はテレビニュースで正一たちの学校の作品展が開かれることを知り出かける。そこで、正一の「友のしょうぞう画」という作品を見つけ和也は胸を熱くするという内容である。

## (4) 指導にあたって

指導にあたっては、導入で、事前にとったアンケート結果を公表し、学級の友だちが友だちとはどんな人のことだと思っているかを伝え、価値への興味付けをはかる。

展開において、まず、正一の難病治療のため遠くはなれなければならなくなった和也のさびしい気持ちを考えさせる。その後、二人は文通を始め互いに励まし合うが、やがて正一から手紙が来なくなる。手紙が来なくなった時、和也が心の中で考えていたことを話し合い、正一のことを心配しながら手紙を書かなくなった和也の気持ちを考えさせる。そのうえで、正一が不自由な手で彫った「友のしょうぞう画」を見た時、和也が思ったことを十分に感じとらせる。そして、遠く離れても変わらない二人の友情に感動させることにより、これからの生活において自分も友情を大切にしていこうとする心情へとつなげる。

中心発問では、和也がまず「友のしょうぞう画」を見て考えたことを出し合い、その後主題にかかわる補助発問として、「いつまでも友だちでいようね」の友だちはどんな友だちのことなのか考えさせる。その際、各自の意見を出しやすくするためにグループトークを取り入れる。そして、自分の意見や友だちの意見をもとに全体への発言へとつなげていき、ねらいに迫っていきたい。

## 7 準備物

- ・ 挿絵 ワークシート

## 8 学習過程

	学習活動	主な発問と 児童の心の動き	指導形態		指導上の留意点 ○支援★評価 ※言語活動の充実
			T 1	T 2	
導入	①友だちについて話し合う。	○友だちってどんな人ですか？ ・一緒に遊んでくれる人。 ・優しくて自分の気持ちを分かってくれ人。	児童観察	発問	○事前にアンケートをとり、学級の友だちが友だちとはどんな人のことだと思っているかを提示することで価値への興味付けを測る。
展開	②資料「友のしょうぞう画」を聞いて話し合う。	○ 東京駅で正一を見送りながら、和也はどんな気持ちだったでしょう。 ・離れ離れになってしまうのは悲しいな。 ・早く治してまた遊ぼう。 ・早く帰ってきてね。 ・病気に負けずに頑張ってるね。	資料読み(前半) 発問	資料提示 板書	○正一と和也が幼なじみで仲が良かったことをしっかり押さえ、和也の寂しくも温かい気持ちに気づかせる。
		○ 正一からだんだん手紙がなくなったとき、和也は心の中でどんなことを考えていたでしょう。 ・どうして手紙がなくなったのだろう。 ・病気が悪くなったのかな、心配だな。 ・もしかしてぼくのこと忘れて新しい友だちができたのかな。	発問	板書 補助発問	○心配な気持ちばかりが出る場合は「和也もなぜ手紙を書かなくなったの？」と補助発問をし、正一のことを心配しながらも正一への疑いの気持ちや不安な気持ちを押える。
		◎ 「友のしょうぞう画」を見て、和也どんなことを考えたでしょう。 ・ぼくのことを彫ってくれてありがとう。うれしいな。 ・疑ってごめんね。 ・力の入らない手で1年もかけてよく頑張ったね。 ・ぼくのこと忘れずにいてくれたんだね。ありがとう。 ・いつまでもずっと友だちだよ。	資料読み(後半) 発問 板書	資料提示 板書 補助発問	○正一の深い友情に気づいたり反省したりする和也の心情に浸らせる。 ※ワークシートに書くことにより、自分の考えをまとめ、相手に伝えることができるようにする。 ★疑ってしまったことを反省したり、正一の深い友情に気づいたりする和也の気持ちに共感することができたか。 ※グループトークを取り入れ、お互いに思ったことを出し合い、その意見に対して共感したり質問したりし、考えを深める。 ○考えが出ないようであれば
		<b>主題にかかわる補助発問</b> 和也が感じた「いつまでも友だちでいようね」の友だちとはどんな友だちのことでしょう。 ・お互いに支え合う ・会わなくても相手のことを大切に思っている			

		・離れていてもお互いのことを信じ合っている			導入で出した自分たちが思っている「友だち」と同じ意味なのか問い、比較させて考えさせる。
終末	③教師の話 を聞く	○わたしたちの道徳P 7 2を聞く。	児童観 察	読む	○余韻を残して終わる。

9 板書計画

いつまでも友だちでいようね

解説

しょうぞう画

「友のしょうぞう画」を見て、和也はどんなことを思ったでしょう。

だんだん手紙が来なくなった

見送りながら

友のしょうぞう画  
 おさななじみ 仲がいい  
 ふたごの兄弟のよう  
 ずっと友だちでいるんだ  
 なん病↓入院